

令和8年 京丹後市議会6月定例会提出 補正予算(案)

一般会計及び1企業会計の補正予算を編成し、6月11日議案提出(16議案) [会期:7月2日までの22日間の予定]

●令和8年度一般会計補正予算●

第2号 補正額 1億 483万円

(補正後予算額:416億9,483万円)

補正財源:国・府支出金、寄附金、繰入金、繰越金など

－主な補正項目－

- 新** ◆市立病院医師及び看護師等の確保支援 【3,090万円】
- 新** ◆行政MaaS導入による「移動市役所」の実証 【2,000万円】(うち国費1,600万円)
- 拡** ◆信用保証料補助金の追加 【1,400万円】
- 拡** ◆ふるさと住民登録制度を見据えた二地域居住等推進経費 【1,220万円】
- 新** ◆子どもの遊び場(巡回型・移動型)設置 【1,210万円】
- 新** ◆「企業版ふるさと納税プロジェクト」の実施(カヌーアジア選手権大会開催補助金) 【1,000万円】(うち寄附金1,000万円)
- 拡** ◆多胎児家庭支援事業 【125万円】
- 新** ◆(仮称)中央図書館検討市民会議の開催経費 【111万円】
- 新** ◆地域活性化ワークショップの開催 【91万円】

《都市・地域拠点の整備検討に向けて》

新

■(仮称)中央図書館検討市民会議の開催経費【111万円】 8ページ参照

将来の中央図書館の整備及び既設図書館(室)を含むサービス向上に向けた基本計画の策定を目指し、図書館の在り方を議論するため「(仮称)中央図書館検討市民会議」を開催

- (仮称)中央図書館検討市民会議
 - ・開催回数:年3回(予定)
 - ・会議構成員:委員20人、アドバイザー2人

問 教育委員会事務局／生涯学習課 69-0630

新

■地域活性化ワークショップの開催【91万円】 9ページ参照

京丹後市都市計画マスタープランにおいて示す地域別構想を進める上で、立地適正化計画の策定も見据えつつ、地域ごとに対話の場を設け、持続可能な地域づくりや地域活性化を推進するための住民参加によるワークショップを6地域で開催

- ・アドバイザー謝金及び費用弁償(5地域、2回ずつ) 60万円
- ・印刷製本費等 31万円

※網野地域については、(仮称)網野交流センター・交流広場整備検討(既決予算)の中で、地域の活性化についても併せて検討

問 建設部／都市・地域拠点整備推進室 69-0530

《子育て環境日本一に向けて》

新

■子どもの遊び場(巡回型・移動型)設置【1,210万円】 10ページ参照

天候に左右されず子どもが安心して遊べる機会を早期に確保するとともに、今後の遊び場整備の方向性を検討するため、屋内施設に遊具を配置した「巡回型遊び場」と、地域の要請に応じて市内各地に出張する「移動型遊び場」を提供

- 巡回型遊び場 1,106万円
 - 各町を巡回して、屋内施設に遊具を配置した遊び場
 - 事業費:遊具借上料603万円、運営委託料360万円ほか
- 移動型遊び場 104万円
 - 遊具を車両に積み、地域等の要請に応じて公民館や公園等、市内全域に出張する遊び場
 - 事業費:消耗品費66万円、パンフレット印刷費17万円ほか

問 こども部／こども未来課 69-0340

■多胎児家庭支援事業【125万円】（うち国費22万円、府費22万円）

多胎児を養育する家庭の経済的負担や育児負担を軽減し安心して子育てができる環境を整備

新 ○多胎児家庭支援給付金 60万円

対象者：満1歳までの多胎児を養育する保護者

給付額：ふたご6万円、みつご12万円（単胎児を超える人数1人につき6万円）

拡 ○子育て短期支援事業委託料 65万円

子育て短期支援事業の利用料減免に、新たに多胎児世帯向けの減免区分を新設

＜多胎児世帯のショートステイ事業利用料＞

・2歳未満児 2,670円（減免前：5,350円） ・2歳以上児 1,380円（2,770円）

・親子利用の保護者 370円（減免前：750円）

問 こども部／子育て支援課 69-0520

《まちのにぎわい・つながりづくり》

拡 ■ふるさと住民登録制度を見据えた二地域居住等推進経費【1,220万円】

「ふるさと住民登録制度」の令和8年度中の開始が予定される中、同制度を有効に活用しながら、二地域居住・関係人口創出の取組を一体的に推進

○二地域居住・ふるさと住民プロモーション事業 670万円

地域活動、社会貢献活動、スポットワークなど「暮らし」や「仕事」に関するコンテンツとともに、観光情報等を発信

○二地域居住・ふるさと住民推進実証事業 550万円

多彩な民間事業者との公民連携プラットフォームの構築、モニターツアーの実施、ビジョン・戦略策定など

■自治宝くじコミュニティ助成金【250万円】（うち諸収入250万円）

一般財団法人自治総合センターに採択された自治宝くじコミュニティ助成事業助成金

○大宮町三重区 コミュニティ備品整備（エアコン） 250万円（事業費286万円）

■ふるさと納税活用型地域プロジェクト事業補助金【20万円】（うち繰入金20万円）

ふるさと納税を活用して寄附金を募った地域プロジェクトに対して寄附金を財源とした補助金を交付

○浅茂川・磯地区地域づくり協議会 3万円[補正後103万円] ○いやさか溝谷地域づくり協議会 7万円[補正後10万円]

○野間連合区 10万円[補正後64万円]

問 上記3項目 市長公室／地域コミュニティ・にぎわいづくり課 69-1050

《商工・観光の支援》

■信用保証料補助金【1,400万円】 [補正後2,500万円]

原材料高騰や資材確保困難などの状況にある市内事業者の経営安定を支援するため、信用保証料補助制度を拡充

区分	新規借入額	現行補助率	拡充後補助率	区分	新規借入額	現行補助率	拡充後補助率
1	100万円以内	80%	80%	4	500万円超え700万円以内	50%	60%
2	100万円超え300万円以内	70%	80%	5	700万円超え1,000万円以内	40%	60%
3	300万円超え500万円以内	60%	80%	6	1,000万円超	30%	50%

また、令和7年度実績を勘案し、利子補給金を減額

○新型コロナウイルス感染症対策利子補給金 **△500万円** [補正後760万円]

○無利子・無担保融資対応利子補給金 **△1,000万円** [補正後1,000万円]

問 商工観光部／商工振興課 69-0440

■京都府北部地域連携都市圏振興社京丹後地域本部補助金の追加【200万円】 [補正後8,056万円]

ワールドマスタースゲームズ2027関西の開催も見据え、旅行会社とのヘルスツーリズムの造成・販売ネットワークを一層強化するため、京丹後市観光公社へ所要の経費を追加

問 商工観光部／観光振興課 69-0450

■「企業版ふるさと納税プロジェクト」の実施【1,000万円】 (うち寄附金1,000万円)

○アジア選手権大会開催補助金 [補正後2,500万円]

令和8年8月5日から8日に開催されるアジア選手権大会(ワールドマスタースゲームズ2027関西テストイベント)において、アサヒビール株式会社が実施する「企業版ふるさと納税プロジェクト」を活用し、実行委員会が実施するおもてなし事業を支援
＜おもてなし事業の内容＞

世界から集まるアスリートやその家族に対し、最高のおもてなしを実現するため、地元ボランティアによる「温かい交流」や子どもたちによる丹後の歴史や自然を紹介したり、伝統文化の体験提供として、きもの(浴衣)試着体験などを実施

また、地元の食材(地元産フルーツ)を使ったスイーツやドリンク等の出店により、会場に憩いの場を提供し、ボランティア・地域住民との交流を図る

問 教育委員会事務局／スポーツ推進室 69-0630

《住民サービスの向上に向けて》

新

■行政MaaS導入による「移動市役所」の実証【2,000万円】（うち国費1,600万円）

マルチタスク車両を活用し、庁舎から距離のある地域などに出向いて証明書等発行や、ICTを活用したリモート相談等の行政サービスを提供する「移動市役所」の実現に向けた実証を行う。（国庫補助事業としての実証運行期間：令和9年1月～3月 ※令和9年4月以降も実証の継続を想定）

○マルチタスク車両導入・維持運行経費（1台） **1,675万円**

○行政MaaSプロジェクト推進業務委託料 **325万円**

移動市役所としての提供サービスの設計支援、車両設計等

【行政MaaSにより期待する機能（例）】

・証明書発行等の移動市民局機能

・リモートによる各種相談業務（子育て、健康、福祉等）

・各種申請手続き等サポート業務

・遠隔医療サポート、移動投票所、移動図書館、災害時現地拠点 等

※マルチタスク車両・・・車内の内装やレイアウトを柔軟に変更することができ、1台の車両で

様々な行政サービスを提供することができる通信設備を備えた車両

車両イメージ⇒



証明書等発行

問 市長公室／政策企画課 69-0120

《農業の支援》

■「京の米」生産イノベーション事業補助金の追加【568万円】（うち府費568万円）[補正後2,241万円]

生産及び流通体制の整備に必要な機械・設備の導入を支援。新規採択に伴い予算を追加

・事業主体：認定農業者（個人） ・補助内容：コンバイン（1台）

■スマート農業実装チャレンジ事業補助金の追加【805万円】（うち府費805万円）[補正後1,363万円]

AI・ICT等先端技術（スマート技術）を有する機械の導入を支援。事業費の変更、新規採択に伴い予算を追加

・補正前 558万円：認定農業者（2個人、トラクター2台） 農業法人（1法人、ハイクリムブ1台）

・補正後 1,363万円：認定農業者（4個人、トラクター2台、コンバイン2台） 農業法人（1法人、ハイクリムブ1台）

■農業経営発展支援事業補助金の追加【749万円】（うち府費749万円）[補正後2,249万円]

就農初期の農業者に機械・設備投資を支援し、新規就農者の確保・育成を図る

・令和8年度新規対象者： **4人 ⇒ 5人**

・予算額： **1,500万円 ⇒ 2,249万円**

問 上記3項目 農林水産部／農業振興課 69-0410

■府営農業競争力強化農地整備事業【1,962万円】（うち府費1,962万円）[補正後1億6,210万円]

府営のほ場整備事業において、換地処分に向けた事業費の変更に伴い、予算を追加するもの。

・丹後町上宇川： **127万円 ⇒ 1,757万円**

・久美浜町平田： **1,155万円 ⇒ 1,264万円**

・丹後町徳光： **560万円 ⇒ 627万円**

・久美浜町関： **1,019万円 ⇒ 1,175万円**

問 農林水産部／農林整備課 69-0430

《医師・看護師の確保支援》

拡

■病院事業会計への繰出金追加【3,090万円】 [補正後14億8,050万円]

医師及び看護師を確保し病院の運営を維持するため、病院事業会計への繰出金を追加

新 ○医師確保支援対策モデル事業 190万円

新 ○医師就業支度金 2,000万円

・募集診療科:内科

・募集人数 : 1,000万円 1人(久美浜)、500万円 2人(弥栄1人、久美浜1人)

新 ○看護師等就業支度金 900万円

・募集人数 : 150万円 6人(弥栄3人、久美浜3人)

問 医療部/医療政策課 69-0360

《その他の主なもの》

■指定ごみ袋製造業務委託料の追加【767万円】 [補正後2,254万円]

原材料価格の高騰により、指定ごみ袋の製造経費が不足する見込みのため増額

指定ごみ袋製造業務委託料の追加(可燃ごみ) 767万円

製造枚数: 大45ℓ(73万枚)、小30ℓ(63万枚)、ミニ20ℓ(39万枚)

問 市民環境部/生活環境課 69-0240

■消防団員退職報償金【4,551万円】 (うち諸収入4,551万円)

令和8年3月末及び4月末で5年以上在職して退職した消防団員(106人)に対する退職報償金

問 消防本部/総務課 62-8119

■道路橋梁新設改良事業【△3,950万円】 (うち国費△2,362万円) [補正後3億2,976万円]

国補助金である社会資本整備総合交付金及び道路メンテナンス事業補助金の本年度の内示に伴い、事業費を減額

○道路新設改良 △900万円 杉谷安線[峰山町杉谷]、郷新田岡線[網野町郷]

○橋梁修繕 △3,050万円 宮の下橋[網野町新庄]、和田野橋[弥栄町和田野]、宮ノ下橋[久美浜町郷]、大間橋[丹後町間人]

問 建設部/土木課 69-0520

■人件費【△5,496万円】

令和8年4月の職員人事異動等に伴う人件費の調整 △8,418万円

その他(会計年度任用職員等) 2,922万円

問 市長公室/人事課 69-0150

《企業会計》

◆病院事業会計補正予算(第1号)

補正額	収益的収入	569万円(補正後予算額80億 869万円)
補正額	収益的支出	569万円(補正後予算額88億7,469万円)
補正額	資本的収入	2,900万円(補正後予算額 6億4,303万円)
補正額	資本的支出	2,900万円(補正後予算額 9億 924万円)

新 ■医師確保支援対策モデル事業【569万円】（うち国費379万円 一般会計繰入190万円）

転職活動中などの医師に対して、地域・職場の魅力を伝え、応募者数や採用率の向上を目指す

- 医師採用PR動画の作成委託料 397万円
- ヘルスツーリズム利用料 112万円
- 移住のための支援費 60万円

新 ■医師・看護師等就業支度金【2,900万円】（うち一般会計繰入2,900万円）

緊急的な医師確保、看護師等の充足のため、新たに常勤医師、看護師等として市立病院に3年以上の勤務を条件に、
医師:最大1,000万円、看護師等150万円の就業支度金を貸与

医師・看護師就業支度金制度	支度金額	補正人数	補正予算額	参考
緊急的に確保が必要な診療科の専門医	1,000万円	1人	1,000万円	久美浜
専門医資格を有する医師	500万円	2人	1,000万円	弥栄・久美浜 各1人
上記以外の医師	300万円	—	—	
看護師等	150万円	6人	900万円	弥栄・久美浜 各3人

※応募資格(主なもの)

- ・申請日から起算して過去1年以内に、市内に居住しておらず、かつ、医師は市内の医療機関等に、
看護師は丹後医療圏の医療機関等に勤務していない者
- ・市の他の奨学金等を貸与されたことがない者

事業（項目）のポイント

- 背景** 令和5年9月の市議会からの「図書館管理運営事業に係る附帯意見」や都市計画マスタープランで示されている「中央図書館」の整備実現に向け、目指す図書館の姿や図書館サービス全体の在り方等をより明確化しまとめるため、幅広い市民から意見を聞き検討する必要がある。
- 目的** 将来の中央図書館の整備及び既設図書館（室）を含むサービス向上に向けた基本計画の策定を目指し、図書館の在り方を議論するため「（仮称）中央図書館検討市民会議」を開催する。

3. 事業内容

■（仮称）中央図書館検討市民会議に関する経費

- ・委員謝金及び費用弁償（委員20人、会議3回） 28万円
 - ・アドバイザー謝金及び費用弁償（アドバイザー2人、会議3回） 85万円
 - ・燃料代、有料道路通行料（事務局視察経費） 3万円
 - ※図書館協議会委員報酬等 △5万円
- （「（仮称）中央図書館検討市民会議」の開催に伴い、協議会の開催数を3回→2回）

■（仮称）中央図書館検討市民会議

- 年3回開催（予定）
 - ・委員20人：一般、中高生、公募委員など、幅広い人材を委員とする。
 - ・アドバイザー2人：外部から図書館運営等に精通したアドバイザーを招へいする。
 - 事務局視察経費
- 他地域でまちづくりの核となっている先進的な図書館を視察し研修することで、本市の図書館サービス全体の在り方について議論を深める材料とする。

【スケジュール】

- ・令和8年度：3回開催（予定） 現状調査・論点整理・意見集約・中間まとめ
- ・令和9年度：計画案作成・パブリックコメント・計画策定などを想定
（令和8年度の進捗状況に合わせて調整）

4. 想定される効果

- ・幅広い世代や人材による議論により、多様な意見集約が期待できる。
- ・アドバイザーからの専門的な指導、助言を得ることにより、議論をより深めることができる。
- ・実践的で有意義な議論とすることにより、来年度の計画策定（想定）に繋げていくことができる。

5. 事業イメージ



※イメージ図はAIで作成しました。

各地域の住民と共に持続可能な地域づくりや地域活性化を推進するためのワークショップを開催

- 背景**
 - 京丹後市総合計画の都市機能構想及び京丹後市都市計画マスタープランの推進に向け、各地域の住民と行政が一体となって持続可能な地域づくりに取り組む必要がある。
- 目的**
 - 京丹後市都市計画マスタープランにおいて示す地域別構想を進める上で、立地適正化計画の策定も見据えつつ、地域ごとに対話の場を設け、持続可能な地域づくりや地域活性化を推進するための住民参加によるワークショップを開催する。

3. 事業内容

○地域活性化ワークショップ経費 91万円

- ・アドバイザー謝金及び費用弁償（5地域、2回ずつ） 60万円
- ・印刷製本費等 31万円

※6地域におけるワークショップの開催・運営に係る経費

※網野地域については、既決予算（(仮称)網野交流センター・交流広場整備検討）の中で、網野地域の活性化についても併せて検討

※立地適正化計画の年度内策定に向け、既に策定済の地域別構想（都市計画マスタープラン）とともに、別途、地域ごとに説明会を開催予定

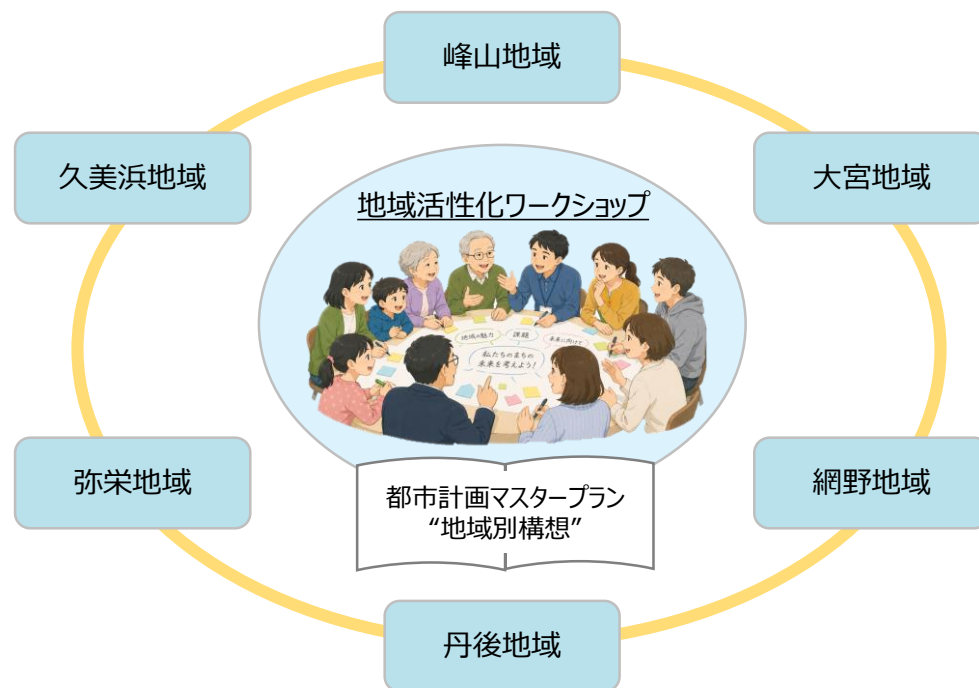
<まちづくりの主要課題（都市計画マスタープランより）>

- ① 人口減少を見据えた持続可能なまちづくり
- ② 広く分散する居住地での豊かな暮らしを育むまちづくり
- ③ 広域交通軸の整備と移動環境が充実したまちづくり
- ④ 産業・地域経済の発展に向けたまちづくり
- ⑤ 災害に対する安全なまちづくり

4. 想定される効果

- ・地域づくりの方向性、強み、課題等の共有
- ・今後の施策や公有財産等の活用方針などへの反映
- ・地域と行政による共創の地域づくり推進

5. 事業イメージ



- 地域の多様な世代、事業者、団体等が参加するワークショップを開催
- 地域と行政が一体となって、持続可能な地域づくりのために必要なこと、地域の未来について考える。

子どもの遊び場づくり推進事業

令和8年度第2号補正計上額:1,210万円

財源:韓哲・まちづくり夢基金繰入金1,198万円

子どもが安心して遊べる機会を市内各地に届ける、巡回型及び移動型の遊び場を実施

- 背景**
 - 雨や猛暑の日でも体を動かして遊べる場を求める子ども、子育て世帯の声が高まっている中、早期に遊びの機会を確保しつつ、今後の遊び場整備の方向性を検討していく必要がある。
- 目的**
 - 天候に左右されず子どもが安心して遊べる機会を早期に確保するとともに、今後の遊び場整備の方向性を検討するため、屋内施設に遊具を配置した「巡回型遊び場」と、地域等の要請に応じて市内各地に出張する「移動型遊び場」を提供する。
- 事業内容**

(1) 巡回型遊び場

事業概要	各町を巡回して、屋内施設に遊具を配置した遊び場を提供
開催時期	令和8年9月～令和9年3月の間で36日間開催 (原則として隔週土・日曜日の開催を予定)
主な対象	市内在住の乳幼児～小学校低学年 ※大人同伴必須 ※市外利用は原則不可(里帰り等の一時居住者は可)
利用料	無料
事業費	1,106万円 (遊具借上料603万円、運営委託料360万円 他)

(2) 移動型遊び場

事業概要	遊具を車両に積み、地域等の要請に応じて公民館や公園等、市内各地に出張し、遊び場を提供
開催時期	令和8年9月以降、地域等の要請に応じて随時開催
主な対象	市内在住の乳幼児～小学生とその保護者、地域住民
利用料	無料
事業費	104万円 (消耗品費66万円、パンフレット印刷費17万円 他)

4. 想定される効果

- ・屋内の子どもの遊び場不足の解消による育児支援や発達促進
- ・子育て世帯の孤立防止
- ・今後の遊び場整備に向けたニーズの把握

5. 事業イメージ

子どもが遊べる機会を早期に確保

今後の遊び場整備の方向性を検討



※イメージ図はAIで作成しました。